久慈市 KUJI CITY

2015 久慈市勢要覧

本日、笑顔のち元気日和

ギョギョギョ！

久慈市っておもしろいですね！

2千ギョ年（2005年）に「もぐらんぴあ」のイベントに招かれて以来、毎年欠かさず久慈市を訪ねています。

行くとみなさん「おかえり～」と迎えてくれて、さかなクンにとってはもう第二のふるさとみたい。

震災後の4月に伺った時でもみなさんが笑顔で迎えてくれたのが忘れられません！

この5年間、色々なことがあったけど、「あまちゃん」の宮藤官九郎先生をはじめ、みんなず～っと久慈に思いを馳せて足を運んでくれてます。

さかなクンも本当に久慈に来るのが楽しいし、来るたび「また来たい」と思います。

久慈がみんなを繋げているんです！

じぇじぇじぇ！

気づいちゃました？

久慈市長

遠藤讓一（えんどうじょうじ）

北限の海女

「小袖北限の海女の会」

海女のはじまりは明治初頭といわれています。畑仕事の合間に海に出てアワビやワカメ、コンブを採るようになりました。

さかなクン

国立大学法人 東京海洋大学
名誉博士･客員准教授

お魚の豊富な知識と経験に裏付けされたお話や、そのキャラクターが幼児からお茶の間まで大人気のさかなクンです。

＼スキャン／

久慈市の情報が見られるYouTube
「久慈市公式チャンネル」

詳しくは35ページをご覧ください。

CONTENTS

ごあいさつ …… 3

［第1章］恐竜と宝石の眠るまち
ジオ&トレイルワールドへようこそ …… 4
久慈ジオワールド …… 6
みちのく潮風トレイル …… 10

［第2章］愛する郷土は力にあふれ［座談会］
オラのまちはこんなにおもしろい …… 12
おもしろいまちづくりは「協働」で …… 18

［第3章］
誰もが住みやすいまちへ［市の施策］ …… 21
震災からの復興 …… 22
産業 …… 23
定住促進 …… 24
生活環境の整備 …… 25
医療・福祉 …… 26
子育て支援 …… 27
スポーツ振興 …… 28
久慈市議会 …… 29
地図 KUJI City Map …… 30
再開 もぐらんぴあ …… 32
体験・観光 …… 33
久慈市 歳時記 …… 34
10年の歩み …… 35

市長あいさつ

子どもたちに誇れる笑顔日本一のまちを目指して

長きにわたる歴史を持つ一市一村が手を携え誕生した久慈市は、平成28年3月6日で10周年を迎えました。

久慈市の代表的な魅力といえば、琥珀・北限の海女・白樺美林。加えて豊かな自然がもたらす恵みを生かした産業や四季の食材、そしてそれらをつなぎ、輝かせる「人」です。

久慈市では、先人たちが守り育んできた歴史や文化を継承しつつ、人や地域のつながり、支え合いの力をさらに高めながら、誰もが笑顔で安心して暮らせるまち、子どもたちが「ふるさと久慈に住んでいたい」と思える魅力あるまちづくりを進めています。「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち 久慈」を基本理念に掲げ、その実現に向けて、これから紹介する医療・福祉、子育て支援などの施策を展開しながら、さらなる市勢発展に努めてまいります。

久慈市長　遠藤讓一

恐竜と宝石が眠るまち
第1章 ジオ&トレイル ワールドへようこそ

2015年3月、久慈市小久慈町の大沢田川支流でアジア初の白亜紀後期の恐竜化石が見つかりました。でもそれは、最初で最後の大発見ではありません。久慈市ではこれまでにも数多くの恐竜化石が見つかり、発掘調査は今も続いているのですから——。

地球誕生から恐竜たちが闊歩した太古の世界へ移り変わる生命の歴史を刻んできた、久慈の大地。ドラマチックで魅力的なジオ・ワールドについて各界のプロフェッショナルが教えてくれました。

日本でここだけ 琥珀と化石の産地

久慈市の地層から陸生脊椎動物類の化石が見つかるようになったのは、2003年（平成15）に琥珀採掘体験場が完成した後。その年には中生代白亜紀のワニの歯化石が発見され、以降7年間に貴重な化石類が次々と発見されました。2012年（平成24）には約9000万年前の肉食恐竜コエルロサウルス類の化石が、琥珀採掘体験に来ていた12歳の中学生によって発見されたのです。

「久慈の地層は手で押しただけで崩れるほど柔らかい。化石の発見点数の多さはもとより保存状態もいいのです。おそらく地殻変動による熱や圧力を余り受けていないのでしょう」。発掘調査団の団長を務める早稲田大学国際教養学部の平山廉教授（古生物学）は推測します。2015年（平成27）に発見された水生八虫類コリストデラ類の化石は、白亜紀後期のアジアでは絶滅したとされていた説を覆す貴重な発見となりました。

古くからの琥珀産地であるとともに、近年では化石の発見が相次ぐ久慈。しかも虫入り琥珀のすぐそばからワニやカメ、果ては恐竜の化石が一度に出てくることもしばしば。「こんな地域は日本に二つとない」と平山教授も驚きを隠しません。

久慈の地層に残された9000万年前の地球物語。まだまだ、古生物学の常識を覆す発見が控えていそうです。

久慈ジオワールド
化石発掘
平山廉 早稲田大教授
（古生物学）

久慈層群玉川層産
植物食恐竜の歯化石（竜脚類）

皆さんは信じられますか？私たちが暮らす大地が、かつては海の底だったことを…。人智をはるかに超えた時間軸の中で地球は生まれ、自然と生物を育んできました。三陸ジオ・ワールドはそんな地球の物語を観察することができる、リアルテーマパーク。久慈市にもほら、こんなにあるのです。

「北限の海女誕生」に太古の火山活動が!?

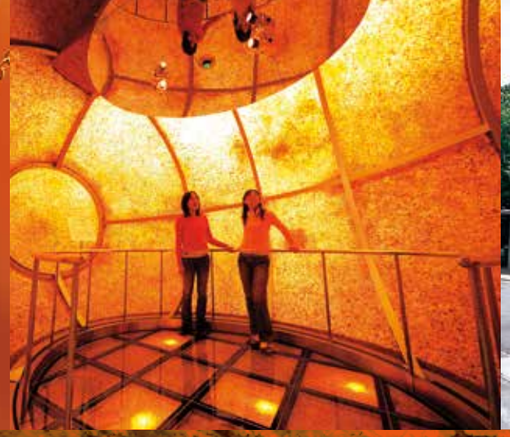
小袖漁港のシンボル・夫婦岩は約1億3000万年前の火山活動で生まれたもの。岩肌には、柱状節理と呼ばれる柱状で断面5角形の岩が折り重なって見えます。ジオパーク研究員の佐々木和久さんは「溶岩には節理を作る特性がありますが、夫婦岩は大地誕生の歴史を記憶している。そのしめ縄は、東日本大震災でも切れなかった」と説明。岩塊は荒海の浸食で奇岩や岩礁へ姿を変え、ウニやアワビが繁殖する岩礁地帯を創り出しました。そんな海の恵みあるところになりわい（仕事）が生まれるのは当然のこと。「北限の海女」の誕生は、この地がたどった1億3000万年の物語の、一つの「結末」ともいえます。

小袖海岸を含む三陸北部の海岸線は、100m級の断崖も見られる海成段丘が続いています。かつての海底が隆起して出来たこの陸地は今なお年間0・3㎜ずつ隆起し、海洋プレートは年間8㎝ずつ陸に近づいているのだとか…。いやはや結末どころか、小袖のジオ物語は現在進行形なのでした。

ジオガイドが案内する

久慈ジオワールド

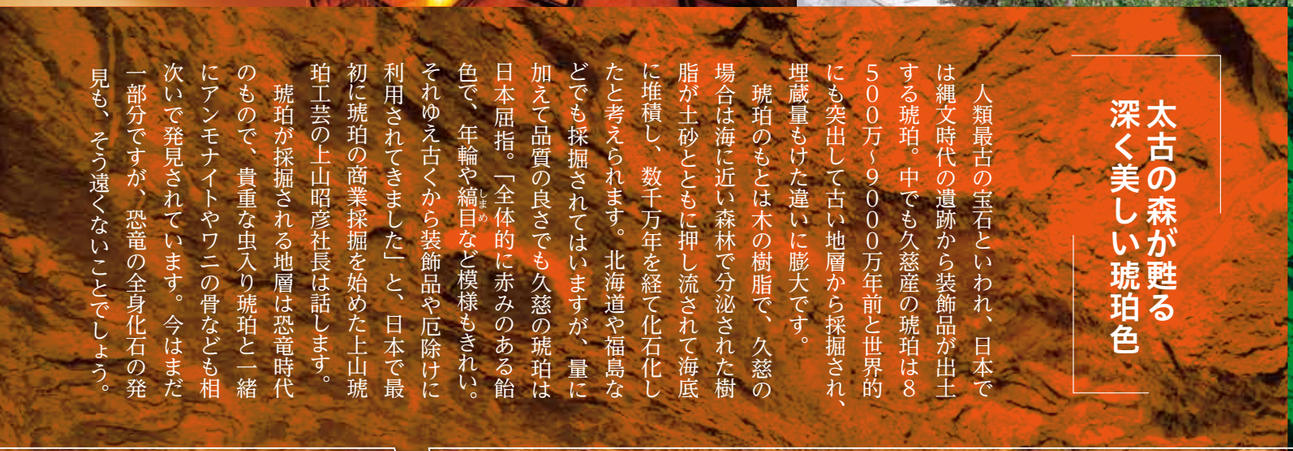
KUJI GEO WORLD



もとは深い海の底！地球活動の標本箱

四季折々に美しい表情を見せる久慈渓流。その成り立ちは火山活動に基づくものと、チャートと呼ばれる深海の堆積物に起源のある地層に大別されます。景勝地の一つである鏡岩は太古の珊瑚礁に由来する石灰岩ですが、上流部には海底火山起源の枕状溶岩や緑色岩の地層が存在。また、大滝周辺にはチャートが見られます。まるでパッチワークのような地質が出来た理由は、地球規模のプレートテクトニクス。久慈渓流は3億万年前、現在のハワイ付近にあった深海の堆積物がプレート移動によって太平洋岸に押し付けられて出来たと考えられています。

現在、この久慈渓流付近ではシャワークライミングが人気。インストラクターの下舘一樹さんは「自然だけでアクティビティが成り立つのが久慈の魅力」と笑顔を見せます。体験プログラムの豊富さと自然の美しさはいうまでもありませんが、大地が移動した痕跡をたどるのは久慈渓流の通な楽しみ方。さて、見分けることはできるでしょうか。



太古の森が甦る深く美しい琥珀色

人類最古の宝石といわれ、日本では縄文時代の遺跡から装飾品が出土する琥珀。中でも久慈産の琥珀は８５００万~９０００万年前と世界的にも突出して古い地層から採掘され、埋蔵量もけた違いに膨大です。

琥珀のもとは木の樹脂で、久慈の場合は海に近い森林で分泌された樹脂が土砂とともに押し流されて海底に堆積し、数千万年を経て化石化したと考えられます。北海道や福島などでも採掘されてはいますが、量に加えて品質の良さでも久慈の琥珀は日本屈指。「全体的に赤みのある飴色で、年輪や縞目（しまめ）など模様もきれい。それゆえ古くから装飾品や厄除けに利用されてきました」と、日本で最初に琥珀の商業採掘を始めた上山琥珀工芸の上山昭彦社長は話します。

琥珀が採掘される地層は恐竜時代のもので、貴重な虫入り琥珀と一緒にアンモナイトやワニの骨なども相次いで発見されています。今はまだ一部分ですが、恐竜の全身化石の発見も、そう遠くないことでしょう。

ジオガイドが案内する

久慈ジオワールド

KUJI GEO WORLD

ジオガイドが案内する

久慈ジオワールド

KUJI GEO WORLD

人と自然の営みがコースの見どころ

みちのく潮風トレイルは、東日本大震災からの復興に取り組む環境省のプロジェクト。三陸復興国立公園の創設を核に、自然環境と地域の暮らしなどをさまざまに結び、活用するために設けられた長距離自然歩道です。延長は青森県から福島県までの太平洋沿岸沿い約700㎞にも及びます。

久慈市のトレイルコースは、沿岸北部の高家川渡渉ポイントから北侍浜野営場、もぐらんぴあなどを経て陸中夏井駅へと向かう「侍浜」コースと、市中央部の巽山公園から諏訪神社やつりがね洞などを経て小袖海女センターへ向かう「まちなか~小袖」コースの2つ。ジオワールドの魅力を体験できる侍浜コースの見どころは、広大な花崗岩の石畳が続く海岸。石畳は地下のマグマが冷え固まって出来たもので、発達した方状節理が観察され、久慈地域ではこの場所でしか見ることができません。海岸には義経北行伝説の残る「侍石」もあります。

今後、小袖海岸から南に向かうルートの開通が予定されており、700㎞の希望の道が一日も早くつながることが期待されます。

三陸をつなぐ希望の道
みちのく潮風トレイル

環境省が進めるみちのく潮風トレイルは、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までをつなぐ長大なコースです。
久慈市内でも、1泊2日コースと半日コースで心に残る景観や温かな交流を楽しむことができます。

みちのく潮風トレイル コースと主な見どころ

みちのく潮風トレイルの詳細は
http://www.tohoku-trail.go.jp/
をご覧ください。

久慈市区間　他市町村区間

❶北侍浜野営場

アカマツ林の中にあるキャンプ場。夏には天然の岩をくりぬいて作られた海水プールで遊ぶこともできます。

❷侍の湯きのこ屋

みちのく潮風トレイルのチェックポイント。断崖に建つ宿泊施設で入浴や食事も楽しめます。

❸もぐらんぴあ

地下水族科学館「もぐらんぴあ」は5階建で管理棟を新設し、平成28年4月オープン予定です。

❹巽山公園

市内を一望できる小高い丘にある公園。桜の名所であり、道の駅くじやませ土風館からも近い場所にあります。

❺諏訪神社

義経北行伝説が残る神社。追手に遭遇した義経でしたが、追手が同情し、わざと矢を外して逃しました。その矢をご神体として祀ったのが始まりとされています。

7月から9月に実演しています。詳しくは「北限の海女」のHPで。

❻小袖海岸

「あまちゃん」で全国的に有名になった小袖海岸。「北限の海女」たちの素潜り漁の実演を見ることができます。

第2章
愛する郷土は魅力にあふれ

連続テレビ小説「あまちゃん」で一気に全国区のまちになった私たちの久慈市。
今では海外からのお客さまも珍しくはありません。
でもそんな、たくさんのお客さまを今も惹き付ける久慈の魅力は、どうやらほかにもあるらしい…。
そこで誰もが認める久慈の達人が集合、遠藤市長とともに久慈市の魅力について、
そして将来の久慈市についても、じっくりと語り合いました。

市民×市長
座談会

オラのまちはこんなにおもしろい

下舘（しもだて） 満吉（みつよし）さん
平庭観光開発株式会社（平庭山荘）取締役社長。民間企業や久慈市役所勤務などを経て平成26年現職。ドラマ「あまちゃん」では企画段階から関わった久慈の仕掛け人。

大下（おおした） 美紀（みき）さん
仙台で就職後、久慈に帰郷。海女センターの観光案内所勤務の時に海女の仕事を間近に見て、平成27年に海女デビュー。

望月（もちづき） 正彦（まさひこ）さん
三陸鉄道株式会社代表取締役社長。花巻で育ち、大学を卒業後、岩手県職員に。久慈市助役も務め、平成22年より現職。趣味は自然散策と釣り。

遠藤（えんどう） 譲一（じょうじ）
久慈市長。岩手県立久慈高等学校を卒業、岩手県庁に入り要職を歴任。平成26年に久慈市長。趣味は山歩き、男声合唱。

田村（たむら） 英寛（ひでひろ）さん
有限会社田村牧場代表取締役。酪農から黒毛和牛や日本短角牛へ飼育拡大、食肉加工やレストラン経営も手がける。地域の畜産経営農家のリーダー。

第2章
愛する郷土は
魅力にあふれ

久慈市は本当に人がいい。まとまったときのパワーも驚くほど強いんです。

遠藤：私にとって、県職員時代から地域振興は大きなテーマでした。久慈市は昔から不便で遠いと言われていましたが、全国を見ても注目を浴びている地方都市は多い。久慈の魅力は「自然」と「食」ですが、皆さんはどうですか。

望月：初めて久慈市に来た平成15年に感じたのは、水のおいしさでした。やっぱり水がおいしいということは豊かな自然があるということですよね。あとは、11月に行われる「さんてつ祭り」。全国から来るお客さまに市民の皆さんが非常に優しいんです。

下舘：私も地元の山形町に戻って来て感じたのは人の優しさ。「久慈の一番の売りは何か」と聞かれれば、私も「人です」と答えますね。

田村：農業・食の魅力という点ですが、私は日本短角和牛に非常に惚れ込んで、酪農に加えて畜産を始めました。久慈の魅力は、自然の中で動物を飼えること、そして海も山も全てあることだと思います。

大下：仙台から久慈に戻って海女の手伝いをするうちに、「かっこいい！」と改めて思いました。私にとっては、久慈の魅力イコール「北限の海女」ですね。

遠藤：皆さんおっしゃるとおり、久慈はとても人がいいと言われます。まとまっていけば、久慈市はさらに良くなりそうですね。

望月：まとまるといえば、久慈の祭りもすごい。あんな大きな山車は県内にないですし、それを作る市民のエネルギーはすごいと思いますよ。

下舘：山車の台数はもっと多いところもありますけど、大きさや作り方では県内ナンバーワンじゃないでしょうか。

海外からのお客さんも「スターになりたーい！」と叫んでいる（笑）

望月：実は「あまちゃん」の放送以降ですね、市外から三陸鉄道に乗りに来るお客さまは久慈駅からが一番多いんです。さらに、昨年からは台湾など海外からのお客さまが一気に増えました。彼らも堀内駅に行くと、トンネルに向かって「スターになりたーい！」と叫んでいる（笑）。

大下：小袖に来る海外のお客さんも「アマチャン！」「アマチャン！」とはしゃいで、背中に「ｊ.ｊ.」と書いたTシャツを見ると「オー！ジェ、ジェ！」って喜んでます。

遠藤：東京在住で、あまちゃん放送以降、久慈を30数回訪問し、今では市の広報リポーターをお願いしてる人もいますね。そういう全国のファンに「こんなにいい人たちばかりいるまちはいない」と言われ、久慈の皆さんは自信を持ち始めている気がします。

田村：私もお付き合いのある人が来た時も、ドラマゆかりの小袖海岸に案内します。ある時、その人から「冬でも久慈はこんなに毎日晴れているの？」と驚かれたことがあります。冬の太陽も地域の恵みですね。

下舘：教育旅行の学生を年間七千人くらい受け入れているのですが、私たちにとって当たり前のことが彼たちに取っては本当に新鮮で素晴らしいんですよ。わざわざ内間木洞の水をペットボトルに汲んで持ち帰るんです。

田村：そうですね、外の人の視点は違いますね。海や山や放牧地を案内した時にも、山に入らなくても食べられるキノコがいっぱいあることに皆さんびっくりしているし。

遠藤：実際、個人の旅行客はかなり増えていて、台湾からの観光客もレンタカーやバスを使って来ています。これからは国内はもちろん、海外の人にもアピールしていかなくてはと思いますね。

平庭高原

久慈市西側の平庭岳中腹に広がる高原で、日本一といわれるシラカバ林やレンゲツツジの群落など見所豊富。

日本短角和牛

久慈市山形町を中心とした岩手県北で飼育される濃赤褐色の毛色の和牛。赤身の美味しさで知られています。

さんてつ祭り

久慈駅前にお祭り広場が出現。ほか車両基地まつりやステージイベントなど、三鉄ファンで盛り上がります。

小袖海岸

三陸復興国立公園の一部でもある久慈市の景勝地。断崖と岩礁が続き、北限の海女の漁も行われています。

北限の海女

ドラマ「あまちゃん」でもお馴染み、小袖海岸で活躍する女性たち。素潜りでウニを採ります。

座談会キーワード
Keyward

農業、北限の海女、祭り…受け継ぎながらも新しいチャレンジが必要

遠藤：これから、日本中で人口が減少するといわれています。久慈も若い人たちが残れるまちにしなくてはならず、働く場をつくって、所得をいかに上げるかが至上命題です。皆さんの考える夢や、久慈市の未来像を教えてください。

大下：一度、久慈市を離れたからこそ、今はこのまちの住みやすさや自然の美しさを感じられます。久慈に来た人が「ふるさと」に帰って来たような気持ちになってほしいですね。

望月：鉄道の役割は、地域と地域を結ぶこと。久慈市を核にして三陸沿岸の魅力を知っていただくことが大事だと思います。外国人の場合は、案内標識やホテルの受け入れ体制、あるいはＷｉ－Ｆｉ環境の整備などで情報発信ができるようになればいいでしょうね。

大下：たとえば、駅前に地域の食や人に触れられるような場所や、商店街が連携して市中に観光客が立ち寄れる場所があればいいですね。さらに、久慈渓流などのビューポイントの整備も進んでほしいと思います。

田村：「太陽の恵み」を久慈市の魅力として、温室栽培のようなものを沿岸地域に作りたい。若い人が農業に興味を持てるような取り組みを行ってもらいたいです。

大下：何度も訪れて魅力を知り、こういう施設や制度があるなら農業をやるよ、というような流れが理想ですね。

遠藤：農業もですが、北限の海女、秋まつり、琥珀、食などもしっかり守りながら挑戦していかなくてはなりませんね。「久慈のいいもの」についてのお話もたくさん出ましたが、それを生かすのもやはり久慈の人たち。久慈の可能性は大きく広がっています。みんなで魅力いっぱいのまちをつくっていきましょう。

久慈産琥珀

約8500万年前の樹木の樹脂が化石化した天然の宝石。深い色合いは古くから装飾品として愛されてきました。

教育旅行

洞窟探検やシャワークライミングなど、久慈市では豊かな地域資源を活かした体験プログラムを提供しています。

久慈渓流

新緑から紅葉、雪景色と四季を通じて美しい表情を魅せる名勝。久慈平庭県立自然公園に指定されています。

内間木洞

国内有数規模の巨大鍾乳洞で大きな鍾乳石は地底の不思議そのもの。毎年２月の氷筍見学会で見学が可能。

三陸鉄道

岩手県の三陸海岸を北リアス線、南リアス線で縦貫するローカル鉄道。ドラマ「あまちゃん」で全国的にも有名に。

久慈秋まつり

640年以上の歴史を誇り、豪華絢爛な山車や神輿、郷土芸能大パレードが久慈市中心街を運行する姿は感動的。

おもしろいまちづくりは「協働」で

まちづくりのための助け合いや
協力する方法を次々と提案しています。
そうです、まちはみんなでつくるものなのです。

［地域おこし協力隊］

新名物「べっぴんベーグル」誕生

地域の活性化に一役買う存在として注目される「地域おこし協力隊」。久慈市では、平成27年度から7人の隊員が地域行事の企画支援や移住定住促進PR等に奮闘しています。

その一人で、山根地区に入って特産品開発や情報発信に取り組んでいる協力隊員の第一号の渡邉勇さん（東京都三鷹市出身）は、趣味のベーグル作りを生かして「べっぴんベーグル」を開発。平成27年5月から新山根温泉べっぴんの湯や「山根水車まつり・くるま市」などのイベントで販売しています。

昔の映像や写真を調べたり、地域の皆さんから聞き取りしながら山根を勉強中の渡邉さん。「まだ、目指すゴールは見えませんが、まずは楽しみながら活動し、地域に還元していきたいです」と話します。

［道路づくり］

住民力を集めて地域の道路を補修

「市民協働道路維持補修事業」は、地域住民と久慈市が協力して道路を補修する取り組み。道路管理や維持管理への住民ニーズに効率的・効果的に対応することを目的に、平成18年度からスタートしました。

事業の特徴は、工事に必要な資材や建設機械の用意と技術的指導を市が行い、地域からは労力の提供をお願いする点。工事の実施は、要望のあった地区へのヒアリング、現地調査を行って決定します。

住民自らが地域の環境保全を進められること、そして作業を通じて道路を大切に使う意識も生まれるこの事業。市が管理する道路のほか「位置指定道路」や「みなし道路」も対象で、毎年数多くの申請が寄せられています。

［ツツジの植栽］

みんなで植えたキリシマツツジ

これまで専門業者が行っていた工事にも市民協働が広がっています。平成27年3月に行われた県立久慈病院に隣接する市道門前源道線の道路植栽工事。市では、沿線の旭町・京の森地区の住民約30人と一緒に約160本のキリシマツツジを植えました。

イチョウが植えられた歩道の植栽升に、参加者の皆さんは協力しながら各枡に4本のツツジを丁寧に植栽。春には深紅のツツジの花で彩られ、秋には金色に色づいたイチョウが道ゆく人を楽しませます。

今後も市では久慈東高校までの街路樹を順次植え替えをする計画。市民の皆さんと協働で植栽を行う予定です。

［ふるさと点検］

地域の魅力をみんなで確認・共有

急速に進む地域の過疎化・高齢化。とりわけ中山間地域では、生活や仕事などに深刻な影響が心配されています。久慈市では「これからも住み続けたいまち、戻ってきたいと思うまちづくり」を目指し、地域公民館を核に地域コミュニティの維持・強化に向けた取り組み「ふるさと点検」を平成27年度からスタートさせました。

事業では、各集落の実態や課題、魅力を確認する「集落支援員」の清水美花さんを中心に山形町・山根町・大川目町で地域住民にヒアリングなどを実施。地域の宝や課題、これからの目標をみんなで共有しました。

今後、ふるさと点検で得られた結果をもとに、ワークショップを開き、みんなで課題解決や資源活用法を探っていきます。

［市政懇談会］

車座で語り合う久慈の魅力と未来

市民との協働を積極的に推進するため、市内各地区で毎年実施している市政懇談会。

平成27年度の懇談会のテーマは「久慈市に住んでよかったこと・自慢できること」「困っていること」「10年、20年後の久慈市の理想像」の３点。新たな試みとして参加者を小グループに分け、車座のようなざっくばらんな雰囲気で意見を交換するワークショップ形式を取り入れました。一人一人の目線が同じになると、意見も活発に出されます。高校生が参加した地区もあり、市長も意欲的に各テーブルを回って皆さんの意見に耳を傾けました。出された意見や提言などは、市政の発展に役立てられています。

［かだって会議］

みんなの「かだり」場が久慈に誕生

久慈市議会では平成26年３月、新たに議会基本条例を策定。今までにない試みとして、市民と議会が市政課題について話し合う場「かだって会議」の設置が定められました。

かだって会議は議員がホスト役になり、ワールドカフェ方式で市民との意見交換を行う形式。小グループでリラックスした雰囲気のなかでの話し合いは好評を博し、第２回は女性限定で開催。今後は中学生など久慈の将来を担う若者や、さまざまな分野や立場での開催も検討されています。

かだって会議とは、仲間になる・一緒にやるという意味の「かだる」と、共に語り合う意味の「かだる」の２つの方言から付けられたもの。市民の声を市政に届ける、ユニークな取り組みに注目が集まります。

第3章 誰もが住みやすいまちへ

［市の施策］

誰もが住みやすいまちへ

震災からの復興

東日本大震災から5年。進む防災機能の強化と、新たなまちづくりが見えてきました。

第3章 市の施策①

復興のシンボルとなった地下水族科学館「もぐらんぴあ」。交流人口の拡大や地域の発展につながることが期待されます

生活再建や避難道路など復興事業は順調に推移 住民共助の取組も進展

東日本大震災発生後、久慈市は県内に先がけて「久慈市復興計画」を策定し、復旧・復興に向けて取り組んできました。あの日から5年が経過し、復興事業はおおむね順調に進んでいます。

特に住宅被害の大きかった市内4地区（久慈湊・大崎、元木沢、玉の脇、久喜）で集団移転事業を実施。宅地の造成や災害公営住宅の建設は平成25年度に完了し、被災者の生活再建に一定の目途がつきました。その他避難道路や避難路、津波避難施設、防潮堤など、防災機能を強化するための施設の整備が進んでいます。

これら「公助」のための施設整備に加え、震災を教訓とした、避難体制を整備・強化する取組も進んでいます。毎年、明治三陸大津波が発生した6月15日には津波避難訓練を行い、「自助」による取り組みを強化しているほか、地域住民による自主防災組織も結成されており、お互いに支え合う「共助」の取組が活性化しています。市はこれらの自主防災組織を支援しています。

久慈湊地区に整備する津波避難タワーは、鉄骨2階建ての高さ8.3メートル。逃げ遅れた方の緊急避難場所として想定しています

誰もが住みやすいまちへ

産業

海と山に恵まれた久慈の農林漁業。自然の恵みに人々の情熱が加わって久慈ブランドは生まれます。

第3章 市の施策②

㊤全国的に評価が高い山形村短角牛。各種支援事業とともにPR活動にも力を入れています。㊦水産資源を維持する、つくり育てる漁業。ウニ、アワビなどの安定生産に努めています

ブランド力の強化と新たな特産品開発への取り組みもスタート

久慈市を代表する農産物といえば、ほうれんそうと菌床しいたけ。近年は規模拡大や新規参入により菌床しいたけの生産量が伸びており、ほうれんそうと合わせて引き続き生産振興に取り組んでいきます。さらにほ場整備事業を契機に、大川目と宇部川の2地区に農事組合法人が誕生。久慈市初の稲作を主体とした農業生産法人として、所得向上や農地保全、さらには新規就農者の受け皿としても注目が集まっています。畜産では、基盤整備全般に関する支援などによる体質の強い産地づくりの推進と、山形村短角牛のブランド力向上に努めます。

久慈市を代表する水産物といえば、サケ、ウニ・アワビ、スルメイカ。つくり育てる漁業として、主力であるウニ・アワビの種苗放流やサケの稚魚放流などに支援をしています。さらに、ナマコの産地化を目指して事業がスタートするなど、引き続き水産振興に取り組んでいきます。

久慈市としては始めての米の生産法人となる農業組合法人ライスランド久慈。8人の農業者で結成されています

誰もが住みやすいまちへ

定住促進

第3章
市の施策③

新たな交流が地域の活力を生み出し
若者や子どもたちが生き生きと輝くまちへ。
移住の「きっかけ」づくりも大事です。

画期的な奨励金制度で久慈暮らしをサポート 移住のチャンスは色々

地域の活力を生み出すには、そこに若者の活躍の場があることも必要です。久慈市では若年者の雇用拡大と地元への定着を支援するための奨励金制度を拡充。事業主に加えて地元定着した新卒者本人、また久慈（ＫＵＪＩ）にＵ・Ｊ・Ｉターン、通称「Ｋターン」した若者にも奨励金10万円を交付しています。

高校を卒業すると、進学や就職などで多くの若者が転出する場合があります。久慈市では地元で頑張る若者を応援し、さらに一度地元を離れた若者たちが久慈市に移住する「きっかけ」となる支援制度を作り、定住を促進します。

また、子どもの頃から地域のひと・しごとを知ってもらうために、キャリア教育の充実にも取り組んでいます。

海や山に囲まれ、穏やかな気候が魅力の久慈地域は、新規就農や移住への関心が高く、市では「空き家バンク」などの住まいに関わる支援制度をはじめ、就農・起業支援を展開し、移住希望者の「きっかけ」づくりをサポートしています。

地域おこし協力隊として久慈市にIターンし、「北限の海女観光PR隊」を務める藤織ジュンさん

地域の新鮮な食材を使い、安心でヘルシーなおいしい料理を提供するカフェレストランエルコリーヌ。オーナーの秋山さんは横浜市からIターン

野菜ソムリエの奥様とパスタ、パン、ベーコンなどを手作りしてお客様に提供。地域の人気店です

誰もが住みやすいまちへ

生活環境整備

第3章
市の施策④

降り注ぐ太陽の光も大事な資源。
地球温暖化対策も見据えた
エネルギー事業に取り組んでいます。

エコシティを目指して 太陽光発電はもちろん 地球温暖化対策も

久慈市を含む三陸沿岸は、東北地方では冬でも比較的日照時間が長い地域です。各地で再生可能エネルギーの導入が進められる現在、久慈市内でもこの「太陽の恵み」を活用したメガソーラー（出力１００ｋｗ以上）が枝成沢・小久慈・夏井の３地区で稼働しています。さらに、市では市民レベルでの普及も目指し、住宅用太陽光発電導入促進事業を行っています。

エネルギー問題と平行して、取り組みが急がれる地球温暖化対策。久慈市には個人や企業など約１４０団体で組織される久慈市地球温暖化対策地域協議会をはじめ様々な任意団体が存在しており、講演会や植樹など多彩な活動が行われてきました。これら団体の活動を支援する補助金制度もあります。

平成27年度には、「久慈市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、省エネや森林の保全を推進し、低炭素社会の構築に取り組んでいます。

太陽光発電に適した日照条件に恵まれた久慈市では、枝成沢・小久慈・夏井の３地区で、1000kw以上の出力を持つメガソーラーが稼働中。住宅用太陽光の導入も平成２４年度から始まり、着実に増えています

誰もが住みやすいまちへ

医療・福祉

子どもからお年寄りまで
すべての市民が健康的な
生活を送れるよう、
制度の充実に取り組んでいます。

第3章
市の施策⑤

子どもたちの健康を支え 高齢化も前向きにとらえた活動を展開

医療サービスは地域の実情に合わせて提供されなくてはなりませんが、久慈市では以前から要望の多かった乳幼児インフルエンザ予防接種への助成を平成27年度から開始。生後6カ月から小学校就学前の児童のワクチン接種を全額無料にしました。

また、高齢者への支援として「ふれあいサロン事業」を展開中。高齢者の仲間づくりを目的に、市内約90カ所で実施されています。利用者のニーズも高く、開催箇所も年々増えています。

さらに、災害時に支援が必要な高齢者や障がい者等の名簿を作成し、地域全体で日常から見守り活動を展開しています。

高齢者が自宅で自立した日常生活を続けるために、市では定期的に介護予防教室を実施しています。医師などを招いて出前講座や研修会を開催。小学生以上の市民を対象に「認知症サポーター養成講座」も行っています。

介護予防のための教室は元気な高齢者と、虚弱者向けに別々のカリキュラムで実施。運動を中心に口腔ケア等も盛り込まれています

誰もが住みやすいまちへ

子育て支援

子どもたちの笑顔輝くまちづくり。
健やかな子育て環境の整備が
久慈市の未来を拓きます。

第3章
市の施策⑥

育児相談や子育て支援整備の充実を図り出会いの機会も提供

子どもを生み・育てやすいまちを目指し、久慈市では独自の施策として世帯内第3子以降の保育料を、従来の半額補助から全額無料に拡充。医療費の助成対象も中学生まで広げています。また、子育て支援センターを核に、育児相談や子育て情報の提供にも取り組んでいます。

現在、学童保育所は市内に8カ所設置されていますが、近年は特に学童保育への要望が多いことから、既存施設の整備推進に加えて、未設置学区への設置についても相談に応じています。

少子化の一因とされる未婚化・晩婚化の対策として、新事業も始まっています。婚活イベントやセミナーを開催する個人や団体に補助金を交付する「結婚支援イベント補助事業」、専門家による研修を受けた市民が「縁結び支援員」として男女の出会いをサポートする「縁結び支援事業」を立ち上げ、定期的に情報共有を図り、成婚率の向上に努めています。

市内の子育て支援施設では育児相談のほか子育て情報の提供や食育活動などを実施。乳幼児と保護者を対象とした育児教室も各種開催されています

学童保育所は専用施設のほか、小学校の空き教室や民家などを改修し、父母会が運営するなど、地域の実情に合わせて設置されています。未設置学区への対応も重要

誰もが住みやすいまちへ

スポーツ振興

第3章
市の施策⑦

柔道の神様を生んだまちは、いつでもどこでもいつまでも生涯スポーツを楽しめるまちでもあるのです。

三船十段記念館柔道スポーツ少年団。市内外の大会で活躍、男女とも多くの児童・生徒が所属しています

スポーツ団体の育成支援やスポーツ活動の機会の提供と促進など、生涯スポーツ振興に積極的です。

健康増進や技術力向上すべての年代が取り組める生涯スポーツでまちづくり

「柔道の神様」と称される三船久蔵柔道十段を輩出した久慈市。先人の功績をたたえ、生涯スポーツの振興をまちづくりの主要施策の一つに掲げています。とりわけ大事なのは、いつでも・どこでも・いつまでも気軽に楽しめる生涯スポーツの環境整備。「久慈市スポーツ推進計画」をもとに3つの基本方針で、普及拡大に努めます。

まずは「生涯スポーツ推進体制の充実」です。スポーツ団体の育成・支援のほか、スポーツ活動の機会の提供と促進など、希望郷いわて国体開催も追い風に各施策を進めています。「体育施設の有効活用」では施設の利用促進や計画的な改修整備を実施。早期の総合運動公園の整備に向けて取り組んでいます。

そして、久慈市を代表するスポーツのひとつである「柔道のまちづくりの推進」。国体開催を機に全国へ情報発信を行い、親しみやすい柔道の普及や競技力向上、三船十段記念館の有効活用、またスポーツ合宿の誘致などを通じた地域の活性化なども目指していきます。

誰もが住みやすいまちへ

久慈市議会

第3章
市の施策⑧

議員定数24人で運営される久慈市議会。平成27年7月の改選を経てスタートした新体制下、市民に寄り添うユニークな試みを実現、支持を得ています。

市民に開かれた議会を目指し、ホームページで本会議や委員会の様子を公開している久慈市議会。今任期からは顔ぶれも大きく変わり、若手議員や女性議員が登場。地方創生や市街地の活性化など、市民の関心の高い議題も多く、真剣な質疑が交わされる様子に、議会に関心を寄せる市民も増えつつあります。

そんな久慈市議会では、全国的な議会改革の機運を受け、平成24年12月に議会改革推進特別委員会を設置。早稲田大学マニフェスト研究所から講師を招くなど、1年をかけて議会改革について協議を重ねました。これを踏まえ平成26年3月に制定された議会基本条例は、議会の決意を述べた前文が「おら達（だち）の住む久慈市は…」と方言で書かれた、通称・久慈市議会じぇじぇじぇ基本条例。「日本初の条例」と専門家も驚いた形式の採用には、議会からの積極的な情報公開と市民参加をはかり、協働で市の発展に取り組んでいこうという久慈市議会からのメッセージが込められています。

もぐらんぴあ再開

ご支援、応援、ご協力に心から感謝申し上げます。

久慈市復興のシンボル 津波を学ぶ施設も登場

東日本大震災の津波で全壊し、再建が進められてきた「地下水族科学館もぐらんぴあ」。管理棟の工事も終了し、震災から5年あまり、平成28年4月23日にオープンします。

新しい管理棟は5階建て。1階には受付や産直コーナー、3階には映像などを駆使した防災学習展示室があり、5階には久慈湾を一望できる展望室も。地下トンネルの水族館には、震災後避難していた名物アオウミガメの「カメ吉」も5年ぶりに八戸から帰還、みなさんを出迎えます。

展望室から見る湾の対岸には、一足先の平成27年にオープンした「小袖海女センター」が。久慈の観光のシンボルでもあった2施設がともに震災を乗り越え、この春再開しました。

小袖海女センター

東日本大震災で流された前施設に代わり、平成27年4月にオープンした新たな小袖海女センター。地上3階建てで、1階は観光案内所や産直施設、2階には海女を紹介する展示コーナー、3階には軽食スペースがあります。

地下水族科学館 もぐらんぴあ

東日本大震災での被災から5年余りを経て、日本唯一の地下水族科学館が営業を再開。復興のシンボルとして、来館者が「見て・感じて・学べる」魅力満載の水族館です。

体験・観光

海もある山もある。久慈をフルコトン満喫！

海にも山にも恵まれた私たちの久慈市。美しい景色も、おいしい地元の味も勢揃いしています。そんなまちを思う存分満喫してもらいたい。自然の中で遊ぶアウトドアプログラムから歴史や暮らしを学ぶプログラム、そして忘れちゃならない「あまちゃん」まで久慈のアレコレ、さあお楽しみください！

ツリーイング

木を傷めることなく、驚くほど簡単に木登を体験できます。普段とは違った視点から眺める森の景色に感動します。

内間木洞体験

岩手県指定天然記念物で見事な鍾乳石や冬には氷筍が見られる。冬は内間木洞氷筍観察会、夏は内間木洞まつりで見学可能です。

シャワークライミング

内間木渓流の流れに逆らい、上流を目指して進む。所々に深みや小さな滝、流れの急なところがあり、協力することの大切さを感じられます。

郷土料理づくり体験

ドラマ「あまちゃん」で注目を浴びた郷土料理のまめぶほか、そば打ち・雑穀を使った料理体験ができます。

漁師体験

「サッパ船」と呼ばれる小型の漁船に乗っていざ久慈の海へ。北三陸の絶景の中で本物の漁業体験が楽しめます。

侍の湯きのこ屋

三陸復興国立公園の岩手北端に位置し、赤松林に囲まれた海沿いの宿。展望大浴場は太平洋を広く見渡せ、雄大な日の出も満喫できます。

山根温泉べっぴんの湯

微白濁で硫黄のにおいがする湯は、県内最高のpH値10.8を誇るアルカリ単純硫黄冷鉱泉で「つるつる」「すべすべ」し、「べっぴん」になると評判です。

平庭高原スキー場

久慈平庭県立自然公園に指定された日本一の白樺美林。広大な白樺林を滑り抜ける爽快なスキーが楽しめます。

あまちゃんハウス

ドラマ「あまちゃん」の撮影で使われた小道具や衣装のほかジオラマも展示。ロケ地情報も知ることができます。

三船十段記念館

近代柔道の礎を築いた柔道家・三船久蔵柔道十段ゆかりの資料やパネルを展示。隣には柔道場も併設されています。

道の駅くじ やませ土風館

久慈市の観光や特産品の情報発信地。海鮮料理が自慢のレストランほか久慈秋まつりの絢爛豪華な山車も展示されています。

Access Information for KUJI CITY

＊記載の時間は、おおよその時間です。余裕をもってお出かけください。

●新幹線・JR在来線・三陸鉄道・バス

- 函館北斗駅 — 1時間27分 北海道新幹線 → 盛岡駅
- 東京駅 — 2時間26分 東北新幹線 → 盛岡駅
- 仙台駅 — 44分 東北新幹線 → 盛岡駅
- 秋田駅 — 1時間30分 秋田新幹線 → 盛岡駅
- 盛岡駅 — 26分 東北新幹線 → 二戸駅 — 11分 東北新幹線 → 八戸駅 — 1時間47分 JR八戸線 → 久慈駅
- 盛岡駅 — 1時間10分 新幹線リレーバス → 久慈駅
- 盛岡駅 — 2時間42分／2時間12分 JRバス／岩手県北バス → 久慈駅
- 盛岡駅 — 2時間 JR山田線 → 宮古駅 — 1時間30分 三陸鉄道北リアス線 → 久慈駅
- 東京 — 11時間45分 岩手県北バス（岩手きずな号） → 久慈駅

●飛行機

- 札幌 — 55分 → いわて花巻空港 — 50分 連絡バス → 盛岡駅
- 大阪（伊丹） — 1時間20分 → いわて花巻空港
- 三沢空港 — 13分 → 三沢駅 — 14分 青い森鉄道 → 八戸駅 — 1時間47分 JR八戸線 → 久慈駅

●東北自動車道

川口JCT — 5時間30分 — 盛岡IC — 1時間30分 — 九戸IC — 40分 一般道 — 久慈

地図 KUJI CityMap

太平洋

洋野町
- りくちゅうながの
- 桑畑漁港
- 中野白滝
- 田子ノ木漁港
- 手造りどうふの里
- 前浜漁港
- 北侍浜野営場
- 侍浜海水プール
- 高家川
- さむらいはま
- 久慈マレットゴルフ場
- 久慈市侍浜支所
- 久慈地区清掃センター
- 北野配水場
- 白前漁港
- JR八戸線
- あーとぴる麦生
- もぐらんぴあ
- 国家地下石油備蓄基地事務所
- 久慈湊漁港

久慈市
- 長泉寺
- 久慈病院
- 福祉の村
- グリーンスポーツク慈
- 市街地
- りくちゅうなついし
- 久慈湾
- 山葡萄生産組合
- 黒森
- 羽黒山神社
- 道の駅くじやませ土風館
- シーサイドパーク
- 慈光寺
- 久慈城跡
- くじ
- 久慈市役所
- 三船十段記念館
- 小久慈焼窯元
- 久慈漁港
- 舟渡海水浴場
- つりがね洞
- 小袖海岸
- 小袖漁港
- 小袖海女センター
- 鏡岩
- 不老泉
- 久慈川
- 久慈琥珀博物館
- 給食センター
- アンバーホール
- 市総合運動場サンスポーツランド久慈
- 久慈渓流
- 滝ダム
- 長内渓流
- 久慈市宇部支所
- 小袖（三崎地区）漁港
- 久喜漁港
- 久慈市山根支所
- 新山根温泉べっぴんの湯
- 女和佐羅比山
- 男和佐羅比山
- 柱の水車広場
- 内間木洞
- 内間木ビジターセンター
- 柿乃花公園
- 七ッ役工房
- そばの匠館
- 深田金山
- 寒長根山
- 小倉山
- 長内川
- 明神岳
- マネドコ山
- 瀬月内ダム
- 平庭高原スキー場
- 平庭高原
- 平庭山荘
- 平庭峠
- 平庭岳
- 白樺の里やまがた
- 久慈市山形総合支所
- 山村文化交流センター
- B&G海洋センター
- 炭々館
- 霜畑八幡のケヤキ群
- 八幡神社
- 霜畑営農研修館
- いわて名水清水川
- 岩手県経済連九戸家畜市場
- 倉野沢放牧場
- 宇部ケ森
- 遠島山
- 天神森
- 大月峠
- 久慈川
- 久慈川
- 久慈渓流
- へろまち産直館
- 伊茂屋山
- エリート牧場
- バッタリー村
- 高畑山
- 九戸村
- 葛巻町
- 岩泉町
- 野田村

- 292
- 42
- 281
- 5
- 272
- 45
- 7
- 29
- 149
- 153
- 395
- 279
- 268

久慈市街地

久慈市 10年の歩み

2006(平成18)年

3月6日	新久慈市誕生
4月29日	べっぴんの湯がリニューアルオープン
6月1日	北日本造船(株)久慈工場が本格創業を開始
11月12日	アンバーホール入館者100万人達成

2007(平成19)年

3月31日	国民宿舎北限閣が閉館
4月22日	初の市議会議員選挙で26人が当選
5月7日	㈱マルサ嵯峨商店の新工場立地調印
10月13・14日	ぐれっと!やまがた街道祭(けぇどぉさい)を初開催

2008(平成20)年

1月24日	大相撲元小結栃乃花(本名・谷地仁)引退
4月1日	市民バス「のるねっとKUJI」運行開始
4月8日	やませ土風館、平庭高原自然交流館しらかばの湯がオープン
9月18~21日	久慈秋まつり山車組全8組が手づくり山車運行

2009(平成21)年

1月31日	栃乃花断髪式。年寄り「二十山」襲名披露
3月30日	第71回(平成28年)国民体育大会・柔道競技開催予定地に選定
4月1日	麦生小中学校が平山・侍浜小と夏井・侍浜中に、霜畑中が山形中に統合
6月14日	全国闘牛サミットin久慈開催
8月11日	新学校給食センター開所
9月28日	やませ土風館入館者100万人達成

2010(平成22)年

4月1日	枝成沢小学校が久慈小学校に、久慈高校山形校が久慈高校に統合
8月1日	海女センターがリニューアルオープン
10月5日	米国フランクリン市と姉妹都市締結50周年(9月29日~10月7日・同市訪問事業を実施)

2011(平成23)年

3月11日	東日本大震災
4月1日	日野沢小学校・繋小学校が山形小学校に統合
6月8日	函館から小型漁船228隻が無償提供
8月5日	もぐらんぴあまちなか水族館オープン

2012(平成24)年

4月1日	戸呂町小学校・荷軽部小学校が山形小学校に統合
5月29日	被災した久慈市営魚市場卸売場が復旧
6月22日	体長20メートル級の大型恐竜化石発見
7月23日	久慈中学校野球部が東北大会優勝

2013(平成25)年

3月22日	久慈ー東京間を岩手きずな号が運行開始
4月1日	NHK連続テレビ小説「あまちゃん」放送開始
7月7日	もぐらんぴあまちなか水族館入館者10万人達成

2014(平成26)年

3月16日	市長選挙で遠藤譲一氏が当選
4月1日	山根小中学校が小久慈小学校・長内中学校に統合
7月9日	リトアニア共和国クライペダ市と姉妹都市締結25周年(9月17日~20日・同市派遣団が久慈市を訪問)
8月21日	やませ土風館人館者500万人達成
12月24日	被災した海女センターが再建

2015(平成27)年

3月31日	市役所車庫棟が完成
4月26日	海女センターが再建オープン
6月5日	新山根温泉べっぴんの湯入館者200万人達成
7月14日	福山通運㈱の企業立地調印
12月8日	被災した地下水族科学館もぐらんぴあの主要な改築工事が完了(2016年4月下旬オープン予定)

久慈市の情報が見られるYouTube「久慈市公式チャンネル」

＼スキャン／

アクセスはこちらのQRコードをご利用ください。URLは次のとおりです。
https://www.youtube.com/channel/UCWkSdwvcqhkurreIC8G0m9Q

主な内容

●久慈秋まつり、久慈市紹介映像　●久慈市ふるさと納税ＰＲ動画
など、様々な情報を動画でご覧いただけます。

久慈市公式チャンネル　検索

久慈市 歳時記

平庭高原つつじまつり
新緑美しく、つつじが咲き誇る平庭高原を舞台に地元特産品の販売や、各種イベントを行います。

平庭高原スキー場まつり
まめぶ汁や豆腐田楽などの郷土の味を中心とした屋台出店のほか、ビンゴ大会や冬の花火大会など各種イベントが開催されます。

平庭闘牛大会
平庭高原で毎年開催されている闘牛大会は、東北地方で唯一の闘牛です。本市は全国でも有数の日本短角種の産地であり、素牛として全国へ供給されています。

ガタゴンまつり
山形町民による流し踊りが開催。ガタゴンの卵を乗せた山車も迫力満点です。

ヤマセあきんど祭り
夏を代表する七夕祭り。七夕飾りの中、久慈地方の郷土芸能の披露やステージ祭り、露天や夜市など盛大に繰り広げられます。

北限の海女フェスティバル
小袖海岸を舞台に開催。1分間タモでウニが採り放題の「ウニ採り名人戦」や海女の素潜り実演など、さまざまなイベントが行われます。

久慈みなと・さかなまつり
久慈港を会場に開催される海の恵みに触れるイベント。新鮮な魚介類の販売やイベントで、「久慈の海」の魅力を発信します。

久慈の市日
毎月、三と八のつく日に開かれる市日で、始まりは古く、交通・文化の要路として栄えた久慈市の歴史を今に伝え、その賑わいは当地方の風物となっています。

水車まつり
昔懐かしい雰囲気の中、地元でとれた野菜や郷土料理の販売、水車の加工実演、さらには郷土芸能の披露などが行われます。

久慈秋まつり
640年以上の歴史と伝統を誇る県北地方の最大級のまつり。お通りとお還りに行われる、豪華で勇壮な山車と神輿の合同運行は圧巻です。

久慈市の花鳥木

つつじ

うぐいす

しらかば

久慈市の名誉市民

故　三船久蔵十段

1883（明治16）年久慈市生まれ。仙台二中卒業後、講道館に入門。「空気投げ」（隅落し）などの技を編み出し、近代柔道の発展に貢献。1945（昭和20）年講道館十段を授けられ名人の称を受ける。1954（昭和29）年久慈市名誉市民。1961（昭和36）年文化功労者。1965（昭和40）年逝去。

故 タマシン・アレン先生

1890（明治23）年アメリカ合衆国インディアナ州フランクリン市生まれ。フランクリン大学、シカゴ大学に学び、1915（大正4）年初来日。1931（昭和6）年久慈市に移住。アレン国際短期大学の設立をはじめ教育・医療・福祉の分野で活躍。1968（昭和43）年勲四等瑞宝章、1959（昭和34）年久慈市名誉市民。1976（昭和51）年逝去。

2015 久慈市勢要覧

編集・発行／久慈市総合政策部
〒028-8030　岩手県久慈市川崎町1-1
TEL.0194-52-2111 FAX.0194-52-3653
URL http://www.city.kuji.iwate.jp